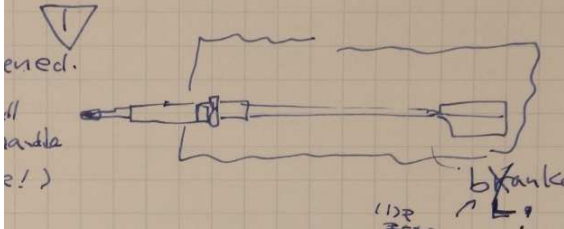


**0 準備: オールのロックプレートネジを外す**

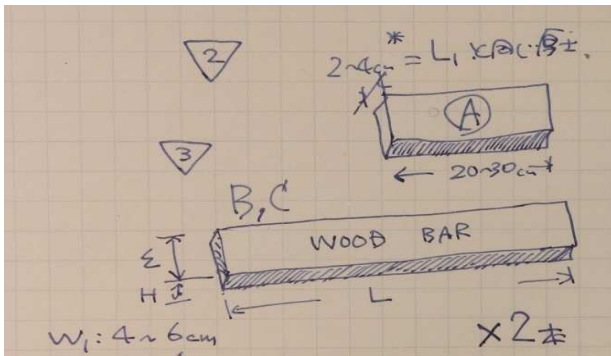
オールのロックプレートを留めている2本のネジを外す。この状態で回せば、それで緩むことも多い。緩まない場合には、以下の手順で外す(中に落ちたロックプレートは後で装着できる。)

**1 道具を準備する****1.1 毛布**

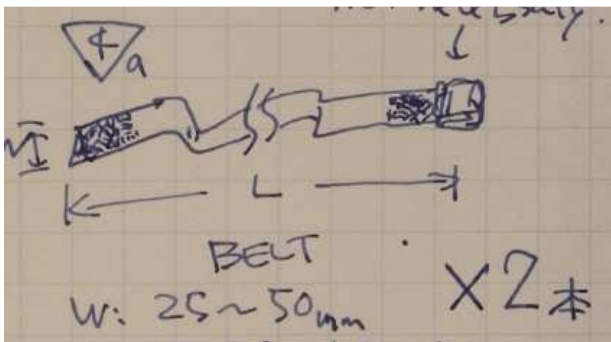
ブレードやシャフトを傷めないように、毛布などを敷いておく。

**1.2 角材(木)**

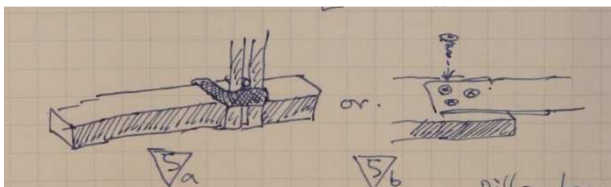
てこに使う木の角材(2本)と、枕になる角材(1本)を用意する。適当なもので良いが、後述のベルトと合わせて、専用の取り外し用のベルトレンチを作ることを推奨する。

**1.3 ベルト**

幅25~50mm×長さ2m程度(輪にして1m程度)のベルトを準備する。ゴムチューブなどで代用できる。専用ベルトにして端を角材にネジ止めする場合は、約1mが良い。

**2 ベルトを角材にとりつける**

ベルトを角材に引っ掛ける。(なお、専用のツールとして作ってしまう場合は、角材の端にネジ止めしてしまうと良い。)

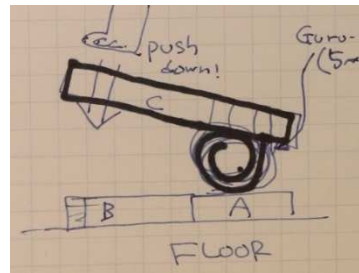
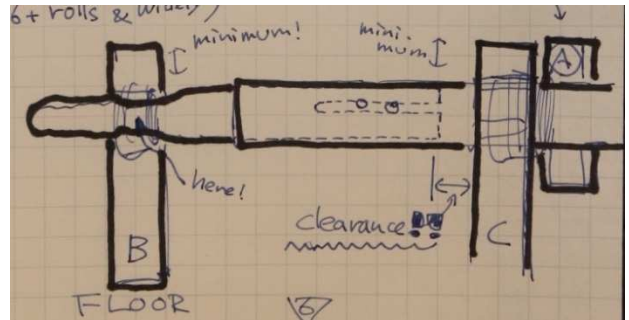
**3 ベルトをシャフト、ハンドルに巻く**

ベルトをシャフトおよびハンドルに巻く。お互いは逆方向に巻く。数回巻いて、「広い幅と厚み」を作るようにすることが大切である。端を特に固定しなくても巻けるが、場合によっては、巻き始めをガムテープで止めたり、または巻くときに滑り止めのゴムテープなどをはさむと良い。

**4 レイアウトを整え、力を加える**

枕(A)グリップ端のロッド(B)でオールを安定させ、ハンドル側のCを持ち、押し下げるように丁寧に力を加える。

注意すべきことは、Cを巻く位置である。内挿されているグリップ側にかからない位置であること。グリップにかかっていると、ブレーキをかけたアクセルを吹かすような状態になる。



Q: なぜBを固定して、Cを回すのですか? 本体側を固定し、Bを回すのではないですか?

A: 上記の方法は、一人でも確実に回せる方法で説明しています。複数の人がいれば、別の方法でもOKです。

**5 補足: ロックプレートのとりつけかた**

完全に外したロックプレートを、シャフトにとりつけるには、いくつかの方法がある:

- A シャフトを(ネジ孔を)下に向けて、ロックプレートを押込む。
- B ハンドルのグリップにロックプレートに乗せて差し込む。
- C 直径30mm程度の丸棒(木)の端をロックプレートが乗るように切り欠いた専用治具を作る。

